

クリアージュFC 親へ願う8つの心得

その1 「無言の行」

「まかせて見守る」・自立心を養わせることも大切です。

親として「言いたいこと」や「要求」など、たくさんあることかとは思いますが、時には、失敗を承知で「まかせて見守る」気持を持つことも必要かもしれません。

その2 「親にも求められるスポーツマン精神」気持の良い応援をお願いします。

- ・「応援しているのだから頑張れ！」だけではなく、応援されていることを「素直に気持よく感じる」ことが出来るような応援をお願いします。心広く皆を応援！
- ・試合の時などには、審判への批判など、敵対心につながるような「感情的な応援」にならないよう。

その3 「クリアージュです。こんにちは！」「気持のよい挨拶」をお願いします。

会場では、他チームの選手、保護者、指導者への挨拶をお願いします。サッカーが大好きな仲間が集まる環境です。スポーツを通して良い交流の場にしたいものです。

その4 人を育てる「言葉の処方箋」「良薬口に苦し」

選手達は、私達（大人）のほんの一言で生き生きとしたり、落ち込んだり、勇気づけられたりするものです。本当に自分のためを思っただけの忠告はありがたいこととは思っているのですが、素直に聞くのがつらい年齢でもあるのです。言葉を有効に使い「言葉の処方箋」をきちんと出せるようにしたいものです。思春期の「言葉の処方箋」は難しいものです。クリアージュには「言葉の薬剤師」がおります。気軽に相談をして下さい。「言葉の薬」では万能薬は有りませんが、愛情を加えれば万能薬に。

その5 「叱るとき」も「褒めるとき」も愛情を持って。

（相手に愛情や心を感じるような「叱り方」「褒め方」であれば、素直にそれを受け止めてくれるでしょう。自分の都合で叱ったり、やたら褒めたりしないように注意しましょう。

その6 結果より変化を求めて・・・

人と比較して成長を見るのではなく、我が子の成長過程の変化を見て下さい。

その7 思春期の健全な親子関係を築きましょう。

自立に向けて心身が準備中の思春期です。この時期は、誰もが親に反発し、親の無理解に悩みます。親の方も、子供が反抗的で、不機嫌で、ちょっと言えばすぐキレるし、どう扱っていいものかと悩みます。この思春期においては普通のことです。それが健全な親子関係の一部と言えるかもしれません。子供は親に反発し、親の価値観とぶつかり、闘い、そのことで成長していくものでしょう。親にあれこれ言われる中で、子供自身が自分の意見を持てるようになり、親を説得するような力を付ける時です。子供自身が「親も自分と同様に限界のある弱点だらけの人間で、時として間違っただけの愛情の押し付けをするような存在なのだ」と気づいた時、子供は大人へ向けて成長の一步をふみだす。悩みの無い思春期などありません。おおいに子供の悩みに付きあってあげて下さい。

その8 我が子を誇りに思って下さい。

たった一人の親です。我が子を誇りに思い、子供からも親を「誇りに」思ってもらえるようになりたいものです。